



# 校 門 の 坂

山田小学校 学校便り 令和6年度第5号 1月14日発 文責 校長

【山田小学校HP <https://cms.miyazaki-c.ed.jp/1363/> 是非御覧ください！

## 家庭での学習について考えてほしいです！

最近、「多様化」という言葉をよく耳にします。保護者の皆様の価値観や考え方も多様化してきていると思います。これは、家庭での子どもの学習に対する考え方にも、よく現れていると思います。スポーツに力を入れたい家庭、ピアノやダンス等の習い事をさせたい家庭、塾に通わせたい家庭、手伝いをさせたり、趣味に没頭させたい家庭などなど……。どのような価値観であれ、選択は自由だと思います。しかしながら、そこには子どもの気持ちや主体性があるべきだと思います。ぜひ、親子で家庭での学習の在り方について話し合ってもらいたいと思います。

## 読み声はおすすめです！

ここからは、校長おすすめの家庭学習を紹介したいと思います。今回おすすめするのは、「読み声」（音読）です。音読は、認知症予防にも推奨されているほど、注目されている学習です。

### まず、音読とは、

音読とは、簡単に言うと、声に出して文章を読むことです。ここで確認しておきたいのが、音読と朗読の違いです。音読は「自分の理解のために」読み、朗読は「読み手の理解のために」読むことを言います。私が勧めているのは、朗読ではなく、音読です。ただ声に出して読んでほしいのです。おうちの方が、「すらすら読んでいた」とか「気持ちを込めていた」等、評価するものではありません。あえて評価するならば、「上手だったね」と一言褒めてもらえれば十分です。あくまでも、自分のために読む時間です。

### 音読は、どんな効果があるのか

では、音読をすると、どんないいことがあるのでしょうか？一般的に言われている音読の効果は、以下のようなものです。

- 1 語彙力・読解力が向上する。（黙読よりも飛ばし読みのミスが減るからです。）
- 2 声に出すことで文章の流れ、文節などの構造も意識できるようになる。
- 3 黙読のスピードも速くなり、読書をする楽しさがより感じられるようになる。  
（入試の際に、問題文を早く読めて、テストで解く時間を確保することもできます。）
- 4 音読をすると、脳が活性化する。（音読は、脳の「前頭前野」を使います。前頭前野は、記憶、判断、思考、創造、集中などの働きをする大切な部位です。）
- 5 集中力が高まる。（前頭前野の働きの中に集中するという重要な働きがあるからです。）

### どんなふうに取り組ませればいいのか

とにかく文章を声に出して読めばいいのですが、本人のやる気が大事ですので、次のような工夫をしていくといいと思います。

- 何を読んでいいのか分からない子は、国語の教科書が一番です。（社会や理科でも大丈夫）
- 漢字が苦手な子は、ふりがなに頼っていいのです。（読めないよりも読めた方がいい）
- 読む時間や量は、本人の意思で決めるようにしていきましょう。（やる気を見ながら）
- ひらがなも苦手な1年生等は、「あいうえお表」をくりかえし読んででもいいと思います。
- 3年生あたりからは、速く読む（速読）に挑戦してもいいです。（読解力が高まります）
- 「ひっかかったがね」とか「へたやねえ」等の注意は禁止です。褒める以外の指摘は、本人のやる気をなくします。余計な評価はしない方が効果的です。

